

私の大切な家族、アリス

四年 渡邊美翔

私は、犬をかっています。トイプードルのアリスです。私が生まれた時からアリスはいたので、私のお姉ちゃんのようにです。

小さい頃から散歩に毎日行ったり、ご飯をあげたりいつも一緒にいたので、アリスは気がつく私の近くでねていたり、私の上に乗って甘えてきます。夜ねるのも同じベッドで私の横で仲良くねていて、本当に姉妹のようです。

アリスは、私や妹が学校や幼稚園に行くのを見送ってくれて一人で留守番をしています。私がランドセルを背負うと、(行かないでほしいなあ。)と言っているような少しさみしい表情になります。学校から帰ると、アリスは玄関まで走って来てしっぽをフリフリして、(おかえり。会いたかった。)と言ってくれているように、はしゃいでむかえてくれます。私は、アリスが可愛くてたまりません。本当に大好きです。

そんな可愛くて大切なアリスは、もう十二才で人間の年だと六十四才のおばあちゃんになりました。心ぞうが弱くなって薬を飲んだり、ねつやおなか痛くなることも多くなりました。六月に、調子が悪くなり、動物病院に連れて行きました。先生から、
「歯をぬく手じゅつをしましょう。全身ますいをして行うけど、アリスちゃんは心ぞうが悪いから、と中で具合が悪くなったり、死んでしまう可のう性もあります。」

と、言われました。死んでしまったら困るので、手じゅつをするのはやめたかったけど、少しでも良くなって、もつと長生きをしてほしいので、家族みんなで話し合っ手じゅつすることに決めました。手じゅつの日、私は、学校に行っただけど、ずっと(大丈夫かなあ)と心配して授業に集中できませんでした。夕方むかえに行くと、病院の先生が、

「ますいの量も気をつけて手じゅつしたので、アリスちゃん大丈夫ですよ。」
と言われ、すごく安心しました。

これから、アリスはもつと年をとって、病気になるったりするかもしれないけど、少しでも長く一緒にいられるように、お世話をしたいと思います。

私のおばあちゃんの家では、アリスのお父さんのトイプードルをかっています。もう十六才で高れい犬なのでねていることが多いです。おしっこもうんちもいろんな所でしちゃったりするので、お世話が大変です。でも、みんなで協力して長生きできるようにたくさん可愛がっています。

アリスも、これからもつと年をとってお世話がひつ要になってくると思うけど、アリスが元気だと私も家族もみんなうれしいし、元気でいられるので、少しでも長く一緒にいられるように、お世話を大切にしていきたいです。私は、アリスのことが大好きです。